

## シャッターの分解

- ①本体(5479)のフィルムマスク側(フィルムレール側)内側のビス(HK1.7-570SB)4本を外すと、カメラ本体からシャッター部組が外せます
- ②シャッター裏側のシャッターケース(5618, A4-10520)のビス(6090\*2, HK1.7-738B0)3本を外すと、台板(#162, BS-18)とシャッターケースが分解し、シャッター羽根(セクター)(5620, A4-10522, 903-0004)が取り外せます。台板からシャッターケースを取り外す時、開閉レバー(5621)の溝がテンション軸(5629)に引っ掛かっています、取り外しに注意して下さい。セクター(シャッター羽根)の2枚は同じものです、ただしカメラにより3種類有るので注意して下さい

## 修理、調整及び、その他の箇所の分解

### PenEEシリーズの修理箇所

- ☆ 遮光材(モトプレート)の不良
- ☆ 巻戻し重い(フィルムを入れると巻上げが重い)  
R軸(5492)とR軸受け(5493)の間に柔らかいグリース又はオイルを1滴。
- ☆ レリーズロックの不良(赤マークが出るのにシャッターが切れる)  
止め板(5155)の作動不良=シンナー、ベンジン等をロックレバー作動部に少し流しレリーズ軸を動かし汚れを取り、オイルを1滴。
- ☆ 鏡胴(絞り環部)のガタ  
ほとんどがシャッターケース(5618, A4-10520)の止めビス(6090, HK17-438B0)の弛み、外れです。止めビスが外れメーター(#122, #178)の中に入りこんでメーターが作動不良になる事があります。
- ☆ 絞り羽根動かず  
絞り羽根の油ねばりです、絞りプレート(6265)を取り外して絞り羽根(5148, 5149)をシンナー、ベンジン等で洗って下さい。
- ☆ メーター作動  
ISO100で蛍光灯に受光部をびたりと当て指針が針オサエ(6268, 5556)の8割位まで振ればほぼOKです、半分~2/3位までしか振らない時は受光部(C1)とメーター部(#122, #178)をつないでいるリード線に付いている抵抗体を低い値に交換します(ほとんどが取り外して直結してもOKです)

以上の分解で、PenEEカメラの修理はほとんど出来ると思います。

上記以外の分解及び調整方法は、別冊資料の「オリンパスペンEE《修理の手引き》」に書かれています。部品の取り付けを間違わないように、部品を無くさないように、注意して下さい。

## カメラを分解する上で大切な事は。

見えるネジを全て外す事はしない ・ ネジ等、絞め付け部分を少し弛めてみて取り外す部品か外さない部品かを判断して、外さないで良い箇所は出来る限り分解しない ・ 外さなくても良かった部品はもう一度組み付けておく ・ 組部品で外せそうな所は組部品で外す。

外した部品を必ず元の箇所に取り付ける為に、絵を書く、メモをする、部品に色つけをする、外した部品を取付いていた通りに並べて置く(両面テープ等で固定して置くと良い)等々、後ほど自分で見ても判るように、工夫をして下さい。

一度書いたメモ、絵、は組み立ての時に書き足して、後日見ても判るように整理して、出来る限り資料として残しておいて下さい。